

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月6日

【評価実施概要】

事業所番号	272700899		
法人名	社会福祉法人恵心会		
事業所名	グループホーム鶴亀		
所在地 (電話番号)	〒039-0122 青森県三戸郡三戸町斗内字和田60-1 (電話) 0179-23-4112		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 9月 5日	評価確定日	平成 20年 10月 6日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	3,500 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.3 歳	最低	69 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三戸中央病院、石亀歯科クリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>母体施設に併設されており、研修、避難訓練、利用者への影響を配慮した職員の異動など連携が取られている。ホームは母体施設の裏側になっているが、わかりやすいよう矢印で案内があり、木や花が植えられ外観に配慮されている。ホーム内は採光が良く、季節に合わせた装飾がされ居心地よい空間となっている。ホールが広いので、体操、歩行訓練、レクリエーションなど伸び伸びと活動されている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>権利擁護についてスタッフは学習を重ねると共に、利用者や家族にもわかりやすいパンフレットを用意し、ホールに掲示している。個別記録についてはその日の様子を記入しているが「その人の暮らしが見える記録」として充分だと考えておらず、模索中である。ホームのスタッフが得た技術や知識を伝える計画があり、地域住民が参加しやすい冬場を実施予定である。重度化や終末期の対応についてホームとしての方針があり、入居時に説明されているが、マニュアルについては検討中である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>スタッフ全員で自己評価に取り組み、ケアの振り返りと見直しの機会とし、ケアの向上と自己啓発に繋がるよう努力されている。そして、これらの取り組みと共に、外部評価等を通じ改善に向けた取り組みがなされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者代表、家族代表、民生委員、町の介護保険班、ホームのスタッフ、管理者が出席し、2ヶ月に1回開催されている。ホームの生活状況や行事の企画、実施後の報告を行い、出席者から意見や協力を得ている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族とは面会時にコミュニケーションが取れるよう努めて対応されている。投書箱、解決の体制があり、入居契約時に説明が行われている。出された意見等に対しては直ちに解決に向け取り組まれているが、家族等が少なからず気兼ねがあることを理解し、言い出せない意見や不満等を汲み上げる工夫が行われる事が求められる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>小、中、高生のボランティアの受け入れ、住民健診や選挙、地域行事への参加、近隣施設との交流等地域に密着した支援がなされており、利用者は散歩や外出の折に近隣の方々と気軽に会話を交わす関係が作られている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念のもと、ホーム独自の理念を掲げ掲示されているが、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容が盛り込まれていない。		地域密着型サービスとして何が大切かスタッフ全員で考え、地域生活の継続支援と事業所の地域密着型サービスとしての役割が反映されたホーム独自の理念をつくりあげることが求められる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念に基づいた業務行動目標を設定し、スタッフ全員で毎月評価し、確認や意識付けがされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩中に気軽に声を掛け合うなど日常的に隣近所とのつきあいがあるほか、地域の行事への参加や住民健診の受診、ホームが企画したバーベキュー大会に、地区住民、関係機関、利用者家族に参加してもらい交流を図っている。スタッフが身に付けた介護技術や知識を地域住民に提供し、グループホームや認知症の理解に取り組む計画がされている。		「地域住民のグループホームや認知症への理解を深める計画」が、是非実現されるよう期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>スタッフ全員で改善に向けて話し合い、実行されている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催されている。利用者の生活の状況や行事の企画、実施後の報告、自己評価・外部評価の取り組みについて報告している。また、住民健診等地域行事への参加について意見や協力を得ている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム入居希望者の待機状況の確認、事故報告を行っている。住民健診や地区の催し物に利用者が安心して参加できるよう、協力を得る等連携して取り組まれている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>スタッフは内部研修で学習している。ポスターをホール内に掲示し、利用者や家族にも周知できるよう工夫されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフは内部研修で学ぶ機会があり周知している。虐待が見過ごされないよう、声掛け、態度、対応についてスタッフ全員で注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に丁寧に説明し、家族や関係者と話し合い、同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>グループホーム便りを年4回発行し、利用者の暮らしぶりを伝えている。面会時には積極的に近況報告をし、特変時には電話連絡をしている他、出納帳を作成し、領収書を渡し報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に投書箱が設置されている事や、苦情受付担当者、その他の窓口について契約時に、文書の配布と口頭による説明を行っている。</p>		<p>家族等が少なからず気兼ねがあることを理解し、言い出せない意見や不満等を汲み上げる工夫をし、それらを運営に反映させることができるよう期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>同法人の通所スタッフや別ユニットのグループホームスタッフが日常的に利用者と交流し顔見知りになっており、スタッフの異動が必要な時にもダメージを防ぐことができている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修に参加している。また、グループホーム協会の主催する研修等に1年を通してスタッフ全員が参加できるよう工夫し、スタッフの育成に努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近所のグループホーム等の行事に出かけて行ったり、日常的に遊びに行く等交流を通して、情報交換や意見交換を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が入居時すぐに馴染めないときや不安を抱いたときには家族等と相談し、面会に来てもらう等不安を解消できるよう努めている。		
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	野菜の切り方や味付け、畑の手入れを利用者と相談しながら行っており、一緒に生活しているとスタッフは感じている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人から直接意見を聞いたり、表情や行動からその真意を推し量るよう努め、毎月1つは希望がかなえられるよう取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフ、本人、家族等が話し合って作成し、作成内容に同意を得ている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>週に1回カンファレンスを全スタッフで行っている。それをもとに、3ヵ月ごとに定期的に見直しをするほか、変化があったときには行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>受診の同行、なじみの店や床屋の利用等、個人個人の要望に応えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の意向に沿い、また受診が必要と判断したときには指定病院に受診介助している。指定病院以外でも希望の医療機関に受診の支援を行い、希望する病院への受診に対応できないときには、家族の協力を得て受診できるよう支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>レベル低下時は本人、家族、主治医と相談しながら対応している。事業所の方針があり、入居契約時に本人、家族に説明しているが、マニュアルが作成されておらず検討、取り組み中である。</p>		<p>本人、家族、関係者、スタッフ全員が方針を共有し、重度や終末であっても、日々をより良く暮らせることができるよう、早期にマニュアルが作成されることが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>心配り、気配りのある声掛けができるよう、管理者は日ごろからスタッフの指導をしている。記録等の個人情報については、扉のある書棚に保管されている。パソコンからの個人情報漏洩防止については、法人内で検討されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの状態や希望にあわせ柔軟な支援を行っている。計算ドリル等の趣味を楽しむ方、外出したい方等、できるだけ希望が出たときに対応できるよう努められている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は法人内の栄養士が作成しているが、近所からの頂き物や利用者のその時々希望にあわせメニューを変更する事もある。個々の力量にあわせ、利用者とスタッフが一緒に料理作り、食事、片づけをしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2日入浴日を決めているが、受診前、農作業後等清潔が望まれるときや希望にあわせ随時対応されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者とスタッフが協力して生活できるよう、食事の準備や片付け、洗濯干しやたたみ物、掃除など個人の能力や生活歴に応じて役割があり、お互いに感謝の言葉を掛け合っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>なじみの床屋や商店、受診、生活用具の購入や修理など、希望に合わせて支援するほか、スタッフのほうからお誘いし、ホームの中だけで過ごす事がないよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>法人のマニュアルに従い内部研修で学習している。「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」をホールに掲示し、管理者はスタッフに説明し、身体拘束をしないケアが実践されるよう取り組まれている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>必要な見守りやさりげない付き添いを行い、日中は鍵をかけないケアが実践されている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>法人のマニュアルに従い体制は取られている。地域の協力隊、消防団があり、協力を得られるようになっている。</p>		<p>利用者やスタッフが更に安心して生活できるよう、生活状況に応じたホーム独自のマニュアルが作成されるとよいのではないかと。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日摂取記録をつけて把握している。法人の栄養士に相談したり指導してもらい、体重や咀嚼・嚥下能力に応じて、一人ひとりに合った食事が提供できるよう工夫されている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>法人のマニュアルがあり、内部研修で学習しスタッフは周知している。インフルエンザ予防接種、ペーパータオルの使用、流行の時期にはポスターを貼るなどして、予防に努められている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールには食卓やソファが置かれ、ついたてで間仕切りし、気の合う同士が過ごせるよう工夫されている。食卓は台所の側に置かれ、食事の準備や片づけがしやすいよう、音やにおいによって生活感が感じられるよう配慮されている。また、利用者が季節や月日を確認できるよう、手作りのカレンダーが貼られたり、季節ごとの装飾がされており、居心地の良い共用空間づくりがなされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>寝具、シルバーカーなど使い慣れた日用品、写真やぬいぐるみなど思い思いのものが持ち込まれ、ベットやタンスは備え付けのものであるが、個々が過ごしやすいよう配置されている。</p>		

 は、重点項目。